



発行 13ひろば編集委員会  
 責任者 棧敷 マリ子  
 事務局 上馬まちづくりセンター  
 住所 世田谷区上馬4-10-17  
 ※平成29年1月23日移転※  
 電話 (3422)7415  
 F A X (5486)7668

世田谷区のホームページでもご覧になれます。  
 「上馬地区ミニコミ」「13ひろば」で検索してください。

今号の内容じゃ！

- ・上馬地区団体紹介(上馬・駒沢明和会)
- ・上馬駒沢の歌ができました
- ・上馬複合施設オープン
- ・駒大コーナー
- ・ご存知ですか？ヘルプマーク！
- ・「災害時安否確認カード」で災害に強いまち



上馬地区の団体紹介

上馬・駒沢明和会

上馬・駒沢明和会 会長 樋口正明

上馬・駒沢明和会は上馬4丁目・5丁目及び駒沢2丁目の一部地域にまたがっており、約4400世帯が居住しています。

区域内には駒留神社・駒沢中学校・小泉公園・上馬高齢者集会所などがあり、環七・世田谷通りから一步入った住宅街です。また区域内には常盤姫伝説で知られる区指定史跡(常盤塚)もあり、時折関心のある見学者が訪れて手を合わせておられます。

町会として、『地域の安全』を守り、『災害に強い町』を目指して日々活動しています。より住みよい町にするために、住民同士の交流を深める場を作り、また町の中をきれいにし、犯罪が起りにくい町にしようと、公園や緑道などの美化

活動も推進しています。本年度の町会の主な活動としては、

- ・春と秋の交通安全運動
- ・防犯パトロール (毎月2回実施)
- ・(夏期および歳末特別警戒夜間パトロール)
- ・防災訓練(10月22日小泉公園にて実施)
- ・駒沢中学校地域合同防災訓練(3月4日実施予定)
- ・町内美化運動(ゴミゼロデー)(5月30日実施)
- ・春と秋の花苗植え替え(公園や歩道沿いのプラント)
- ・夏休み親子ラジオ体操(7月21・30日)
- ・小泉公園ふれあいフェスタ(10月8日)
- ・日帰りバス旅行(武田神社と石和温泉11月22日実施)

上馬駒沢の歌ができました♪

『上馬♪絆歌の輪』は、上馬の絆がさらに温かさと強さが増すように、地域の誰もが歌え、愛唱できる「地域の歌」を作成し、地域の活性化や災害時でも助け合う思いが生まれる先駆けとなりたいたいと思い、世田谷区の「地域の絆ネットワーク支援事業」を利用して活動をはじめました。

この地域にお住まいの方々から、地域に関するキーワードを募集したところ、上馬駒沢に関する「こ」とば「は150以上の応募がありました。そして2つの歌になりました。2016年10月地域交流音楽会でお披露目をし、来られたお客様にアンケートをさせて頂き「おはようおやすみ」がメイン曲に決定しました。もう一つの「わたしの住む町」はサブ曲としましたが、こちらも上馬駒沢の歌です。



この歌のCDは上馬まちづくりセンターで貸し出しを行っています。是非お聞きになってください。これから様々な場面で皆さんに、この歌をご紹介できると思っています。お楽しみに！

編集委員 T & N



上馬地区の『地域の絆ネットワーク支援事業』団体

上馬公園『自然と親しむ体験フェスタ』
上馬東町会
上馬ふれあい作品展
世田谷高齢者クラブ協議会第七ブロック
猫も人もハッピー運動
野良猫対策委員会
小泉公園ふれあいフェスタ
小泉ふれあいフェスタ実行委員会
駒沢ドッグストリート・プロジェクト
駒沢ドッグストリート・プロジェクト
上馬2丁目花いっぱい運動
上馬北部町会
「地域の歌」を作り絆を広めよう！
上馬♪絆歌の輪

上馬まちづくりセンター所長の司会進行で落成式が始まりました。世田谷区長のご祝辞をいただき、次にテープカットがあり、続いて上馬駒沢の歌「おはようおやすみ」が作詞・作曲者をはじめ社会福祉協議会のいきいきサロンのすずらん会の皆様で歌われ、落成式が無事閉会となりました。閉会した後は、この日を楽しみにしていた地域の方々、内覧会に多数訪れました。まず明るくて広い施設に、見学者から異口同音に感嘆する声が多く聞かれました。特に高齢者にとってはエレベーターの設置は嬉しく、活動場所も大小あり、この施設が知識向上の場となり、健康増進の場にもなる事でしょう。地域住民の交流の場として大いに期待されるとしています。活動フロアでは、早速1月27日・2月2日まで、高齢者クラブ他の上馬ふれあい作品展が開催されました。是非皆様も、この上馬複合施設を見にいらしてください。

編集委員 A & N

上馬複合施設オープン



社会福祉協議会 常務理事 福田 督男 氏  
 上馬地区町会連合会 会長 白須 勝敏 氏  
 世田谷区長 保坂 展人 氏  
 世田谷区議会 議長 上島 よしもり 氏  
 (社)福日本フレンズ奉仕団 常任理事 飯田 能子 氏



上馬4丁目公園の花の植え替え中



防犯パトロール



春と秋の全国交通安全運動

現在町会が最も重要な課題として取り組んでいることは「防災」です。他の町会でも同じだと思いますが、地震の脅威がより身近に感じられる昨今、災害が起きたときに地域として具体的な行動を取れるかを皆で考え、常日頃から繰り返し訓練を重ねることが大切だと思います。

地震が起きてから72時間、あるいはそれ以上、他からの救助は期待できないと言われています。自分たちで何とか生きていかなければならないのです。日頃から近所同士、顔見知りとなり、親しい間柄を築いておけば、いざ災害が起きたときにスムーズな協力関係を結ぶことができるのではないのでしょうか。

1月18日、上馬複合施設の落成式が行われました。上馬複合施設は、上馬まちづくりセンター、上馬あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会上馬地区事務局、上馬地区会館の4つの施設がひとつとなつたものです。地域まちづくり活動及び地域の防災支援拠点として、また各活動団体等の交流の場として誰もが気軽に相談でき、利用できる親しまれる施設を目指しているそうです。

上馬まちづくりセンター所長の司会進行で落成式が始まりました。世田谷区長のご祝辞をいただき、次にテープカットがあり、続いて上馬駒沢の歌「おはようおやすみ」が作詞・作曲者をはじめ社会福祉協議会のいきいきサロンのすずらん会の皆様で歌われ、落成式が無事閉会となりました。閉会した後は、この日を楽しみにしていた地域の方々、内覧会に多数訪れました。まず明るくて広い施設に、見学者から異口同音に感嘆する声が多く聞かれました。特に高齢者にとってはエレベーターの設置は嬉しく、活動場所も大小あり、この施設が知識向上の場となり、健康増進の場にもなる事でしょう。地域住民の交流の場として大いに期待されるとしています。活動フロアでは、早速1月27日・2月2日まで、高齢者クラブ他の上馬ふれあい作品展が開催されました。是非皆様も、この上馬複合施設を見にいらしてください。

駒大コーナ-  
防災館見学  
&  
駒澤大学の災害対策

車のドアはとて重く脱出困難



水深30cmのドアは開けられませんでした

・防災館見学  
皆さんはもしもの災害に備えて何か準備をされていますでしょうか？  
去年の9月13日、私たち13ひろば編集委員は墨田区の東京消防庁本所防災館にて研修会を行いました。こちらの防災館ではいつ起こるか分からない大震災や、火災などの災害から身を守る方法を地震体験や煙体験、消火体験などを通して災害に対する知識や対処法を学ぶことができます。

私たち13ひろば編集委員もいくつかの模擬災害を体験してきました。これまで日本で起こった震災や、これから起こるであろうとされている首都直下型地震で発生すると予想される揺れを実際に体感するものや、水害発生時に水圧で家や車のドア

がどれだけ重くなるかといった体験をしました。これらを通して自分たちが思っているよりも震災や水害が恐ろしいものだという印象を受けました。そのほかにも、防災館には自分が防災についてどれだけの知識を持っているかを試すことができる防災クイズや、災害が起きた時のために自宅に常備しておきたいものを紹介した展示もありました。

今回の研修会の感想として、いっどこで起こるか分からない災害の恐ろしさを改めて感じました。もし、実際に災害が起こったとき、自分や家族の安全を確保できるように、防災の知識を身に付けておくことは大切なのだと思います。

駒澤大学の災害対策  
駒澤大学ではどのような災害対策を行っているのか、総務部総務課の佐藤貴之係長にお話を伺いました。  
駒澤大学で行っている対策は、防災カードの配布、職員方での自衛消防隊の組織、図書館での避難訓練、緊急地震速報の放送などです。防災カードとは学生部と総務部で作成したもので学生手帳に同封されています。緊急連絡先や避難場所、災害発生時にすべきことが書かれてい



**ご存知ですか？**  
**ヘルプマーク！**

ヘルプマークとは外見からではわからない障がいなどがある人の為に東京都福祉保健局が作成した、援助が必要な方のためのマークです。

外見では健康そうに見えても実は障がいを抱え、電車やバスで立っていることさえも辛い人もいます。義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、もしくは妊娠初期の方など、外見からではわからないため、優先席に座っていると不審な目で見られストレスを受けることがあります。ヘルプマークを見かけたら席を譲る、困っていれば声をかけるなどの行動をお願い致します。

またヘルプマークは電車の中で席を譲ってもらうことのために付けているものではありません。災害時や外で倒れた時、事故に巻き込まれた時など、視覚や聴覚に障がいがあり、周囲の状況把握が難しい方や肢体不自由者等の自力では避難が難しい方に、適切な援助をするためにもヘルプマークは役立ちます。

ヘルプマークは、まちづくりセンターや区立図書館、区役所や総合支所、都営地下鉄各駅等で配布しています。

編集委員 M

ます。職員は災害時の役割分担のため自衛消防隊を組織しています。避難訓練は学生がなかなか参加しないという問題点があり、大学全体で避難訓練を実施するのは規模が大きすぎるので難しいとの事でした。

今回お話を伺って、災害対策に関して初めて知ることが多かったです。防災カードのことも詳しく知りませんでした。災害対策について学生にはあまり知られていないことが現状かもしれせん。学生は大学が行っている災害対策について知っておくべきだと思いました。

駒澤大学編集委員 T & K

**「災害時安否確認カード」で災害に強い「まち」!**

上馬西町会では、防災訓練や避難所運営訓練を実施していますが、もっと具体的で会員の皆様にわかりやすい事業が必要であると考えていました。平成28年度の事業計画に、震災対策として簡易トイレと感震ブレイカーの購入支援そしてすべての会員に「災害時安否確認カード」の配布を行うことを決めました。その後、地区防災会議での話し合いで「災害時安否確認カード」については5町会協働の事業となりました。

この「災害時安否確認カード」の配布はすでに成城地区や練馬区が実施しています。このカードを配布することにより、震災時に安否を効率的に確認する助けになり、平時でも玄関先に掛けておくことにより、震災時への関心も高まると考えています。

大きな地震が起こった時、道路は大渋滞、恐らく車は全く動けないと思います。電車も全て運休でしょう。まず、自分と家族の生死と安全の確認が第一となります。次はお隣さんです。大きな声で呼び掛けなければ、家の中の人の安全を確認できません。そんな時、自分や家族の安全が確保できた時にこの「災害時安否確認カード」を道路から見える所へ掲示してください。カードの掲示がない家の安否確認をご近所力行う「まち」にしていきたいと思ひます。

カードは、3月から配付する予定です。上馬まちづくりセンター窓口にもございます。

この活動は29年度以降上馬地区内5つの町会が力を合わせて普及啓発していきます。

(表) (裏)

**災害時安否確認カード**

**無事です**

上馬地区区民防災会議委員会  
(上馬東町会、上馬西町会、上馬北町会、上馬・駒沢町会、駒沢町会)

上馬拠点: 上馬まちづくりセンター 03-3422-7415

上馬地区区民防災会議委員会・上馬西町会 会長 下山芳男

**編集後記**  
13ひろばで長年編集委員をされた上馬東町会の白井玉紀さんが勇退されました。白井さんに代わって同じ上馬東町会の木村博子さんが編集委員に加わります。  
そして、一年間駒澤大学編集委員として参加させていたいた小林蒼人、武野ふたばは来期も継続して編集委員に参加します。よろしくお祈いします。

駒澤大学編集委員 K

歳末たすけあい・地域ささえあい募金  
1,949,739円  
ご協力ありがとうございました。

**イベント情報**  
**地区情報連絡会**  
上馬地区内で活動する様々な団体が集まり、活動の紹介・情報交換をします。耳よりな情報が手に入っちゃうかも？！  
日時: 3月26日(日)午後2時~  
会場: 上馬まちづくりセンター2階活動フロア  
申込・問合せ: 上馬まちづくりセンター  
TEL 3422-7415

**安全・安心のお知らせ**  
『上馬地区区民防災会議』ができました！  
5つの町会の防災担当者等の代表者で上馬地区の安全・安心のため、協議していきます。  
現在は地区防災計画の策定と右記、災害時安否確認カードの作成及び普及・啓発中です。